

## 学校再開時の防疫対策Ⅰ（ステージA：6月1日～6月5日）

神戸大学附属中等教育学校  
校長 井上 真理

5月21日に兵庫県は緊急事態宣言対象区域から解除されました。しかし、依然、予断を許さない状況にあり、感染の第2波に備えて防疫対策に取り組む必要があります。文部科学省より5月22日に示された「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～学校の新しい生活様式～」を参考に、本校の通学状況や立地などに合わせ、神戸大学産業医と学校医・学校薬剤師の指導を受け防疫対策を作成しました。

以下の防疫対策の前提として生徒・ご家族の皆様の理解・協力は不可欠です。体調不良や微熱の自覚にもかかわらず登校し、感染が疑われるケースが発生した場合は再休業となる可能性があります。また常時マスク着用や徒歩通学など学校生活全般で新しい生活様式への対応が必要です。再開に向け、防疫対策をご家庭で共有し、健康管理の徹底をお願いいたします。その上で、登下校や学校生活に心配があり不安を感じられる場合は、無理をして通学せずに自宅で学習に取り組むことを学年とご相談ください。欠席ではなく公欠扱いとします。

今回発信しているのは第16報に示されたステージAでの防疫対策です。ステージBから再開予定の学習活動や昼食等は「学校再開時の防疫対策Ⅱ」でお知らせします。また今後の新たな情報や知見が得られた場合には随時対策を見直していきます。

### 学校再開・ステージA「生徒の健康状況を確認し、心や学びの相談に対応する段階」

- ・6月1日（月）～6月5日（金）の5日間
- ・隔日登校 1日（月）1・3・5年  
2日（火）2・4・6年  
3日（水）1・3・5年  
4日（木）2・4・6年  
5日（金）自宅学習日
- ・時差登校 出席番号奇数 登校10時30分頃、下校12時頃  
出席番号偶数 登校14時、下校15時30分頃
- ・徒歩通学
- ・教育活動はホームルームと面談、一部授業で90分間
- ・昼食なし
- ・部活動なし

## 0 新しい生活環境

### (1) 玄関・廊下・階段

- ・玄関に消毒ボトルを設置
- ・使用教室棟の玄関を利用し、扉は右側通行
- ・廊下と階段の通行は右側通行
- ・取手に触れないよう玄関扉は常に開放
- ・ウォータークーラーは使用を禁止

### (2) 教室

- ・ホームルームと面談で使用する棟・教室以外には立ち入らない
- ・ホームルームに消毒ボトルを設置
- ・机の配置

前後左右で席を空けるよう交互に配置

→この配置で前後 140cm 以上・左右 110cm 以上の間隔を確保  
荷物は指定された前後左右の空席に置く

- ・換気

廊下窓は常に全換気

教室窓は、授業中は 2 方向の窓・扉を開放、休み時間はすべての窓・扉を開放

エアコンは必要に応じて使用するが、使用中も定められた換気を行う

### (3) 手洗い場・トイレ

- ・混雑を緩和するため、授業時間中も含めて随時使用
- ・A棟および体育館、屋外のトイレは利用しない

### (4) 消毒作業

- ・接触回数が多い生徒机天板、イスの背と座面、電気・エアコンのスイッチ、ドアノブ、水道コック、手すり、手洗い場・トイレを消毒
- ・教室の消毒は 1 日 1 回 16 時、共用施設の消毒は 12 時 30 分と 16 時に実施

### (5) ゴミ箱

- ・感染の危険性のあるゴミ回収をしないように教室・廊下にゴミ箱は当面設置しない
- ・女子トイレの汚物入れは設置する
- ・ゴミは家庭に持ち帰って処理できるように各自でゴミ袋を持参する

## 1 健康管理

### (0) 健康観察のお願いと健康観察表の活用について

生徒本人，教職員，地域住民の間の感染症の予防のため，毎日の健康観察と健康観察表※の記録のご協力をお願いいたします。生徒自身が健康管理を行うにあたって，毎日の健康観察を習慣付けて行うことはとても大切なことです。この習慣が生徒自身はもちろん御家族や周りの大切な人の命を守ることに繋がります。健康観察は毎朝・晩の検温※と諸症状の有

無（咳，息苦しさ，強いだるさ，頭痛・筋肉痛・関節痛，下痢などの腹部症状，味覚または嗅覚の異常，その他風邪症状）を確認し，事前に送付した健康観察表に記録して活用するようにしてください。その他いつもとは違う気になる症状がある場合などは備考欄に記入するよう心がけてください。この健康観察表は，学校再開の際は毎日持参いただきます。各自で携帯し，いつでも提示できるように準備をお願いします。特にその日の御家庭での体温測定が確認できない場合は，教室入室をお待ちいただくこともあります。人命保護と感染拡大抑制を最優先する観点から行うことですので，御面倒ですが御協力をお願いいたします。

※健康観察表は第 16 報で配信し，この防疫対策 1 にも添付しています。御家庭で印刷して活用してください。健康観察表を準備できない生徒は，学校再開後に申し出てください。

※体温計が手に入らないなどの理由によりご家庭で検温出来ない場合は，事前に学校までご相談ください。数に限りはありますが，貸し出しを検討しています。

#### （1）登校判断

- ・健康観察表の観察項に該当する諸症状を有する場合は，必ず自宅療養をお願いします。項目は，発熱，咳，息苦しさ，強いだるさ，頭痛・筋肉痛・関節痛，下痢などの腹部症状，味覚または嗅覚の異常，その他風邪症状です。

#### （2）登校時に朝の検温を確認

- ・正門あたりで未検温者の誘導を呼びかけます。自己申告で対応してください。
- ・未検温の場合は（3）の手順で検温してください。

#### （3）登校時に未検温者の体温測定

- ・登校時に未検温の生徒はA棟玄関前（雨天：生徒相談 1）にて各自で検温します。
- ・対象者が複数の場合は，間隔を確保して待機してください。
- ・徒歩通学による体温上昇が収まってから検温します。
- ・教員は立ち会わずに生徒個人で検温，健康観察表の記録，体温計消毒を行います。  
→平熱の場合はホームルームへ移動する  
→発熱時は保健室前廊下へ移動し，以下（4）の対応を行います。

#### （4）登校後の体調不良

- ・登校後に体調を崩した場合は，職員室を訪ねず，保健室前廊下で養護教諭に用件を伝えてください。
- ・感染が疑わしい症状の場合は，養護教諭の指示により別室で待機します。必要に応じて簡易ベットを利用してください。
- ・発熱や諸症状が確認された場合は早退とし，学年教員から保護者に連絡します。
- ・保護者のお迎えを原則としますが，難しい場合は相談の上，公共交通機関を利用して帰宅していただきます。
- ・生徒による「早退許可証」記入・提出は不要です。→保健室で作成し教務課に提出
- ・けがの処置やその他の体調不良，健康相談は保健室内で対応します。

(5) 学校生活における感染防止

- ・「3密」が当たり前だった学校生活から、「3密」を避けることを常に意識した行動が必要です。



- ・手洗いは接触感染を避ける有効な方法です。こまめに手を洗いましょう。

外から教室に入るとき

咳やくしゃみ、鼻をかんだとき

給食（昼食）の前後

掃除の後

トイレの後

共有のものを触ったとき

**石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いを行ってください。**

手洗いを丁寧に行うことで、十分にウイルスを除去できます。さらにアルコール消毒液を使用する必要はありません。

手洗い		残存ウイルス
手洗いなし		約100万個
石けんやハンドソープで10秒もみ洗い後流水で15秒すすぐ	1回	約0.01% (数百個)
	2回繰り返す	約0.0001% (数個)

(資料元) 感染症学雑誌、90:496-500,2006 から作成

- ・飛沫感染を避けるため咳エチケットを徹底してください。熱中症の危険性によりマスクを外すときはソーシャルディスタンスを確保してください。またマスクを着用していても長時間の対話は避けてください。



(6) 服装・持ち物

- ・夏日や梅雨の中での徒歩登下校と換気しながらのエアコン使用教室に対応した服装を各自で考えてください。公共交通機関内で不快感を与え、露出の多い服装は避けてください。制服の場合は、健康・環境状況により冬服夏服は個人で判断してください。
- ・交通機関内と校内では常にマスクを着用し、徒歩登下校時は他者と2m以上の間隔がとれるときは熱中症防止の観点からマスクを外すようにしてください。
- ・徒歩に適したカバンで通学してください。
- ・ハンカチやタオル、使用したティッシュペーパーや制汗シートなど個人のゴミを入れるビニール袋等、外したマスクを入れるビニール袋や布を持参してください。
- ・ウォータークーラーは使用できません。水筒等は各自で準備してください。  
(自動販売機は利用可、購買ショップは閉店しています)

## 2 登下校

### (1) 徒歩通学

- ・時差登校の期間は、神戸市バス 19・39 系統は地域住民と甲南病院利用者が乗車するため利用しないでください。
- ・JR 住吉と阪神御影からは 38 系統を利用し、車内で密接しないよう距離をとって乗車してください。31 系統利用者も同様に注意して乗車してください。
- ・阪急御影駅からは徒歩通学とし、前期課程が消防署より左ルート、後期課程が右ルートを利用します。
- ・徒歩登下校時はソーシャルディスタンスを確保し、通行車両や一般歩行者に注意して歩き、マスクを原則着用してください。

### (2) 電車利用

- ・車両内での「3密」を避け、中等生同士も間隔を確保して乗車してください。
- ・券売機やつり革との非接触を心がけましょう。またつり革等に触れた手で顔を触らないようにしましょう。

## 3 ステージAの教育活動

### (1) 実施する活動

- ・分散型ホームルームで健康チェック、課題回収・回収、(生徒会活動)
- ・学級担任との面談
- ・下記(2)以外の一部教科・科目の授業

### (2) 停止する活動 ※文科省「学校の新しい生活様式」より一部抜粋

各教科における「感染症対策を講じてもおお感染のリスクが高い学習活動」として、以下のような活動が挙げられます(「★」はこの中でも特にリスクの高いもの)。ステージAではこれを行わないようにします。

- ・各教科等に共通する活動として「生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」(★)
- ・理科における「生徒同士が近距離で活動する実験や観察」
- ・音楽における「室内で生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」(★)
- ・美術における「生徒同士が近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞の活動」
- ・技術・家庭における「生徒同士が近距離で活動する調理実習」(★)
- ・体育、保健体育における「生徒が密集する運動」(★)や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」(★)
- ・その他教材、教具、情報機器などを共有で使用する学習活動
- ・狭い密閉空間での学年集会

- ・清掃活動はゴミ箱を設置できる段階から再開
- ・ロッカー室は、終SHR後の分散利用が可能となる一斉下校がある程度解除される段階から利用します。それまでの間、カバンは机の右側フックに掛け、教室移動時はカバンを携行してください。

(3) 図書室利用

- ・ステージAでは、図書室は閉館し、貸し出しも行いません。
- ・昨年度より貸し出していた図書は、図書室前のブックポストに返却してください。

(4) 学習室

- ・ステージAでは学習室利用だけでなく、校内に留まっの自習はできません。

※次ページに既に配信している健康観察表を掲載しています

